

2月の消防広報重点事項

発行 令和6年1月11日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

令和5年の火災・救急の状況について

1 火災の状況

令和5年中の盛岡市における火災件数は39件で、前年に比べ9件増加しています。また、火災による死者数は6人で、前年に比べて2人増加しています。火災原因の上位は、「たばこ」、「ストーブ」、「電灯等の配線」及び「配線器具」となっています。

	令和5年	令和4年	比較増減
火災件数	39	30	+9
死者	6	4	+2
負傷者	15	10	+5

令和5年				令和4年			
火災原因	件数	割合(%)		火災原因	件数	割合(%)	
第1位 たばこ	3	7.7		第1位 放火・放火の疑い	3	10.0	
第1位 ストーブ	3	7.7		第2位 こんろ	2	6.7	
第1位 電灯等の配線	3	7.7		第2位 ストーブ	2	6.7	
第1位 配線器具	3	7.7		第2位 電気装置	2	6.7	

2 救急の状況

令和5年中の盛岡市における救急出動件数は13,328件で、前年に比べ770件増加しています。また、救急搬送人員は12,394人で、前年に比べ724人増加しています。

	令和5年	令和4年	比較増減
救急出動件数	13,328	12,558	+770
救急搬送人員	12,394	11,670	+724

3 過去5年間の火災件数及び救急出動件数の推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
火災件数	40	30	49	30	39
救急出動件数	11,909	10,885	11,566	12,558	13,328

地震火災を防ぐポイント

① 事前の対策

- 住まいの耐震性を確保しましょう。
- 家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょよう。
- 感震ブレーカーを設置しましょう。
- ストープ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう。
- 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認しましょう。
- 住宅用火災警報器を設置しましょう。



② 地震直後の行動

- 停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう。
- 避難するときはブレーカーを落としましょう。
- 石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう。

③ 地震発生からしばらくして

- ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう。
- 再通電後は、しばらく電気器具に異常がないか、煙や臭いに注意を払いましょよう。

④ 日頃からの対策

- 消防団や、自主防災組織等へ参加しましょよう。
- 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図りましょよう。

令和5年12月中の火災4件の内訳

12月 6日	上堂三丁目	店舗1棟ぼや	
12月 12日	盛岡駅前北通	マンション1棟部分焼	負傷者1名
12月 17日	中太田新田	養生シート焼損	
12月 24日	長橋町	車両1台焼損	